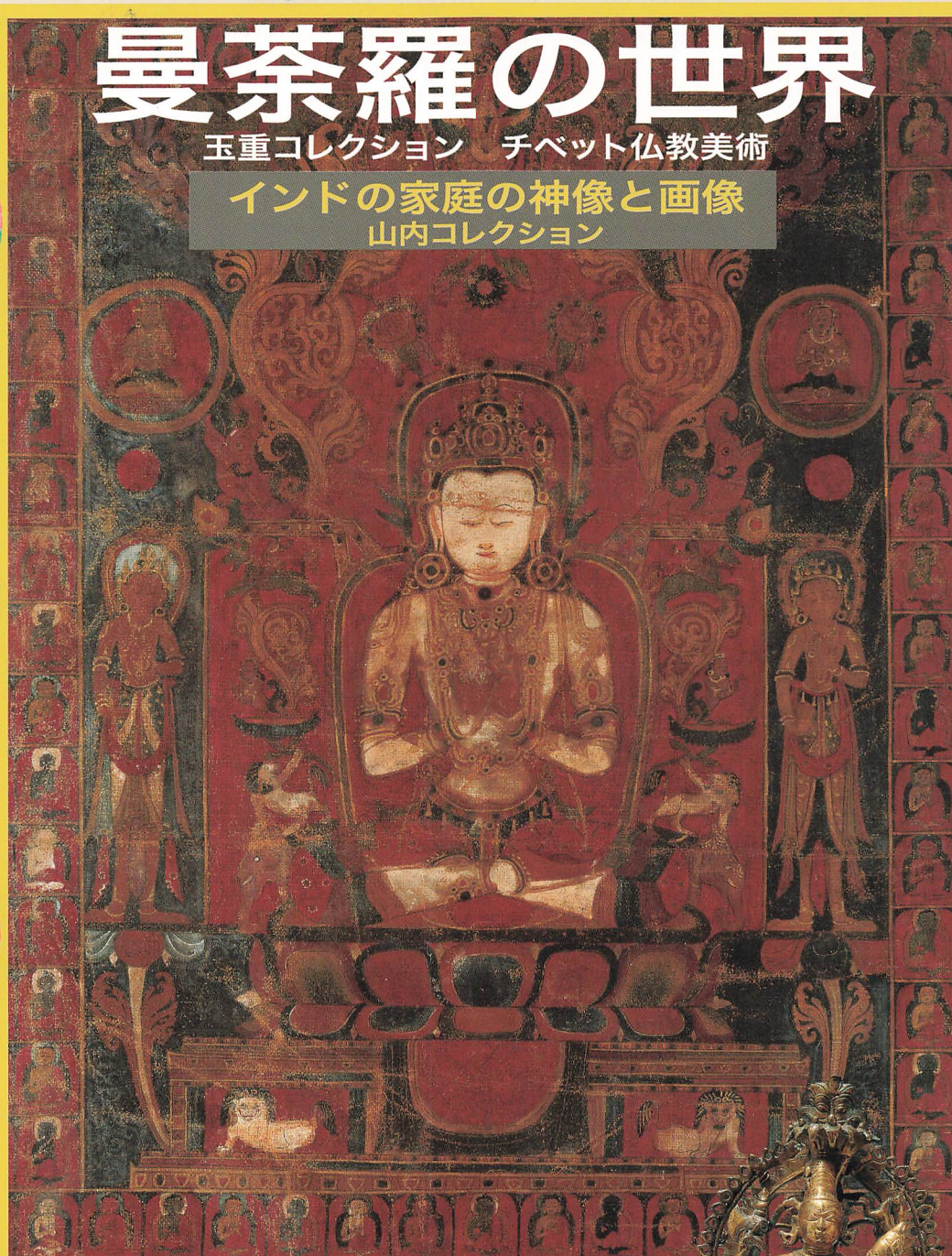


# 曼荼羅の世界

玉重コレクション チベット仏教美術

インドの家庭の神像と画像  
山内コレクション



金剛界大日如来(部分) (玉重コレクション)

2005年4月1日[金] - 6月19日[日]

- ◎開館時間：午前10時 - 午後4時30分(入館午後4時)まで
- ◎休館日：月曜日(休日の際は開館)
- ◎主催：大倉集古館 ◎協力：ホテルオークラ東京
- ◎お問い合わせ／03-3583-0781

OKURA MUSEUM OF ART

大倉集古館

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3  
ホテルオークラ本館正面玄関前  
電話 03-3583-0781



シヴァとパールヴァティー(山内コレクション)



# 曼荼羅の世界

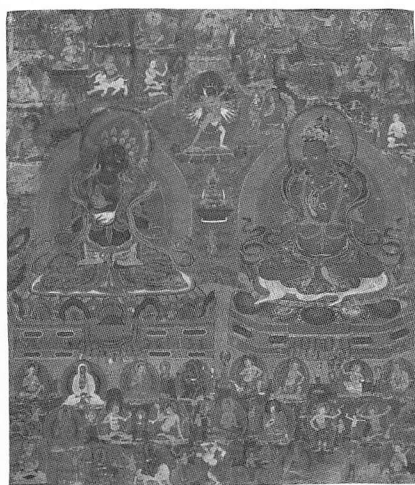
玉重コレクション チベット仏教美術

*The World of Mandala - Tamashige Tibet Collection -*

東京在住の弁護士、玉重良知氏は、若くして仏教や東洋思想に興味をもち、忙しい業務の傍ら、東洋美術を収集するようになりました。とくにタンカ(チベットの軸装仏画)は、そのコレクションの核をなすものといえます。そして昨年、玉重氏の収蔵品を鑑定した私は、それが世界的なレベルに達していることを知りました。玉重コレクションの特徴は、14~15世紀に遡りうる古作が多数あり、作品のレベルがきわめて高いことです。また大型タンカから小型のツァカリ(彩色画片)まで、チベット絵画のジャンルを、一通りカヴァーしているのも貴重です。私は常々、日本のチベット美術コレクションが、欧米はもとより、韓国・台湾に比しても遠く及ばないことを痛感しておりましたが、玉重コレクションの発見は、日本でチベット美術を研究する者を大いに勇気づけるものです。また他のコレクションに比して曼荼羅の点数が多いのも、その大きな特徴です。そこで今回は、この曼荼羅に焦点を当て、絵画・彫刻に加え、CGや写真パネルも援用して、チベット密教の絢爛とした世界を、会場に再現することを目指しています。また休日にはギャラリートークも予定しているので、どうかご期待ください。

田中公明

(東方研究会研究員・東京大学/慶応義塾大学講師[非常勤])



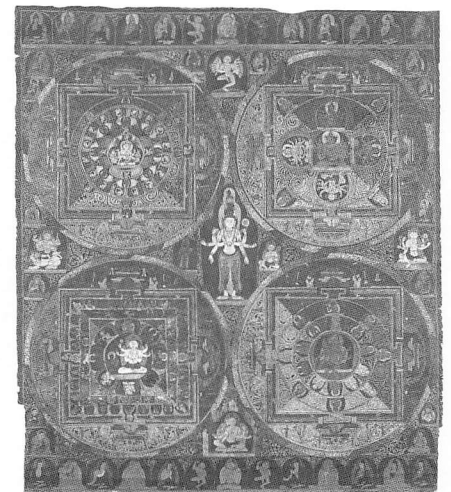
八十四成就者



タクレン様式のラマ



ダライラマ歴代(全5点) ダライラマ七世(本尊)



ヴァジュラーヴァリー曼荼羅集

## インドの家庭の神像と画像

山内コレクション

*Gods and Deities in Indian Families*

この企画展示では、2000年にヒンドゥーの神像・細密画約350点を当館に寄贈された故・山内利男を追想し、彼が愛したインドの文化、民俗の信仰の形を紹介いたします。



サラスヴァティー



ガネーシャ



ヴィシュヌ

料金：一般1000円

大学生・高校生・65歳以上800円

小学生・中学生 無料

(20名様以上の団体は100円引)

土・日曜の高校生以下の児童・生徒並びに同伴の両親・教師の入場は無料

\*ホテルオークラとのセット鑑賞券

喫茶券1600円 / 食事券3200円

\*リピーター割引制度あり(会期中に限り100円引き)

\*田中公明氏によるギャラリートーク(予定)の詳細はお問合せ下さい

### 次回展示のお知らせ

日本の女流書展 第30回記念

「与謝野晶子展」6月24日(金)~7月31日(日)

